

在宅避難のすすめ

マンション防災編



マンションにお住まいの方は、震災時に倒壊する可能性が低いため、日頃から備えておくことで大地震のあとも、在宅生活が可能になります。



在宅避難で気をつけたいポイント

エレベーター使用禁止



大地震の後に避難するとき、エレベーターが稼働していたとしても、使用してはいけません。地震感知センサーの働きや故障・停電などで緊急停止し、閉じ込め被害にあう可能性があります。

エレベーターに閉じ込められたら・・・

使用している際に揺れを感じたら全部の階のボタンを押し、開いた階でおりましょう。閉じ込められた場合は非常電話で連絡をとりましょう。

エレベーターが動かないと・・・

高層階の居住者や車椅子の方が、外出先から戻れないこともあります。また、復旧に時間がかかると1階への行き来にも支障が生じることもあります。



トイレ・水廻りは・・・



マンション内の排水管が破損する可能性があります。上の階の居住者が排水管の破損に気付かずにトイレを使用すると、下の階で汚物があふれ出るおそれがあります。

排水管の復旧が確認できるまでトイレや水廻りを使用するのは、やめましょう。

携帯トイレ等の準備



耐震基準を満たしたマンションは大きな揺れで建物に亀裂や破損が生じることはありますが、旧耐震の建物に比べれば倒壊する可能性は低く、在宅避難の可能性が高くなります。

在宅避難をするためにも、飲食料品の備蓄以外にも、携帯トイレの備蓄も忘れないようにしましょう。

一日で一人あたり、5～8回程度トイレを使用すると言われています。
少なくとも3日分の携帯トイレの備蓄をしましょう。

自宅が安全なら

在宅避難

「災害が起きたら避難所に行くしかない」
そのように思いませんか？

避難所で暮らすことは選択肢の一つにすぎません。
環境の変化などによって体調を崩す人もいます。

住まいの防災対策や日常備蓄を行うことで、
可能な限り在宅避難ができる準備を整えましょう。

市からの情報を受取るためにも、立川見守りメール
に登録しましょう。

以下のアドレスに空メールを送信するか、二次元コード
からも送信できます

m.tachikawa-city-citizen@raiden2.ktaiwork.jp

メールの指定受信をされている方は
送信前に、下記アドレスを受信可能に
してください。



@city.tachikawa.lg.jp

防災備蓄ナビ

<https://www.bichiku.metro.tokyo.lg.jp/>

※東京都防災ホームページや東京都防災アプリ
からもアクセスできます



日頃から備えよう

日常備蓄のイメージ

「日常備蓄」とは、普段使用している食料品
や生活必需品を少し多めに備えることで、
大規模災害時にライフラインや物流が一定期間
機能しなくなった場合でも食料品等を活用でき
るという考え方です。



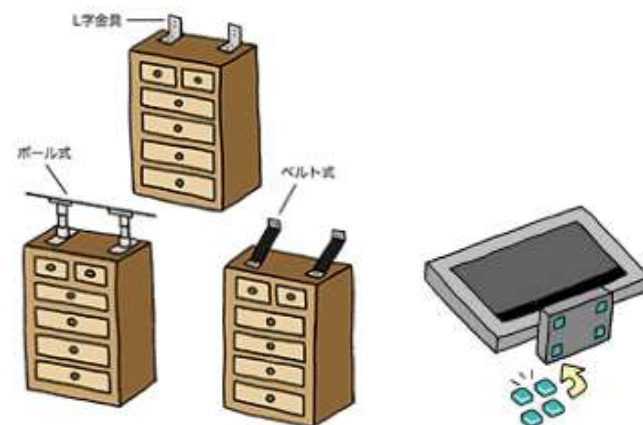
普段から食べ慣れた食料を、少し多めに買い置きして
おき、賞味期限を考えて古い物から消費し、消費した分
を買い足すことで、一定量が常に備蓄されている状況
を作ることができます。

水は、一日で一人3リットル程度の飲食で使用するこ
とを見込んで備蓄しましょう。

家具を固定しよう

マンションは構造上、高層階ほど揺れが大きくなり
ます。低層階に比べて、震度は1～2程度大き
く感じられることもあります。

自分の命を守るために家具の固定をしましょう。



共助のすすめ

マンションには多くの人が居住しています。
防災力向上のために、日頃から顔の見える関係
づくりをしておきましょう。

